

# 第12分科会（ワークショップ形式）

## 多様性配慮と障害学生支援

### 概要：

#### 大学における視覚・聴覚障害支援のアップデート ～支援技術の進歩と学生ニーズの変化を読み解く～

ユニバーサル段階を迎えた現在の大学には、実に多様な背景をもつ学生が入学している。こうした多様性に配慮しつつ、プライバシーを尊重しながら学生支援をどのように行っていくのか——大学組織として明確な体制を整えているところもあれば、大学の規模や実情に合わせて、教員・職員が柔軟に判断しながら対応しているケースも多くみられる。

昨年度の分科会では「発達障害」をテーマに、合理的配慮の実践をめぐる多様な経験や感じ方が共有され、各大学の取り組みを振り返る機会となった。今年度は、前半の講演で視覚障害・聴覚障害に焦点を当て、技術進歩と学生ニーズの変化に応じた支援アップデートを取り上げる。ここ15年ほどの技術の発展によって、大学の支援体制・支援方法、そして学生のニーズがどのように変化してきたのかを、具体的な事例から学ぶ。

後半のセッションでは、参加者同士が所属機関を越えて自由に語り合い、各大学における配慮依頼ルート・システム・実践の工夫や課題を共有する時間を設けている。視聴覚障害支援に携わっている方はもちろん、合理的配慮をよりよい形で実践したいすべての大学教職員にとって、明日からの支援に直結する学びとヒントが得られる場となることを目指している。

### <プログラム>

- 14:00 挨拶 京都文教大学 臨床心理学部 准教授 浅田 瞳氏  
佛敎大学 教育学部 准教授 奥畑 志帆氏
- 14:05 趣旨説明 京都文教大学 准教授 浅田 瞳氏
- 14:10 講演 1. 「視覚障害：大学における支援のアップデート」  
京都文教大学 教授 林 雅清氏
- 14:50 講演 2. 「聴覚障害：大学における支援のアップデート」  
佛敎大学 学生支援センター 講師 楠 敬太氏
- 15:20 質疑応答
- 15:30 休憩
- 15:40 情報共有セッション 「配慮依頼のフロー・システムの実態と課題について」
- 16:25 まとめ 佛敎大学 准教授 奥畑 志帆氏